

つくしの里通信

会 報
第8号

発行日： 平成 29 年 9 月 15 日

発 行： 特定非営利活動法人 つくしの里福祉会 就労継続支援B型事業所 つくしの里

〒 960-1241 福島県福島市松川町字平舘11-1

TEL 024-563-1515

FAX 024-563-1516



* 事業所より土合館を望む *

ご あ い さ つ 就労継続支援B型事業所 つくしの里 所 長

3月から新たな取り組みとして「施設外就労」を始めました。かねてから計画していたものの、様々な壁に立ち向かいなかなか前進できないでおりましたが、地域の企業様に多大なご協力頂いて苦労の末に実現しました。天候に左右されながらのアパートと精米所の定期清掃作業ですが、利用者の皆さんにとって工賃が増えることに加え、適度な緊張感の中で社会参加の喜びを肌で感じる貴重な経験に繋がります。また、定番作業の主に春彼岸に使われるお供え用造花の「彼岸花作り」は、ほとんどが自然に還るものを使い、全工程にわたって手作業で、仕上がった彼岸花を見ても利用者全員のプロの腕前が光っています。華やかな彼岸花には努力が花開き、質の高い製品を効率よく仕上げるため、日々真剣に新しい工程に挑戦しながら技術の向上に取り組んでいます。

就労継続支援B型に移行した平成25年4月から現在までの4年半のなかで、職員も利用者も環境や仕事の流れに沿って、より前向きに取り組めるようになったと感じられます。以前会報で私が思う事業所の目標を書きました。「つくしに来れば楽しいことが待っていると思える事業所であるように・・・」改めて思い返せば、今日も利用者の皆さんが自らの意思でつくしの里に集い、友人同士で力を合わせ、元気に夢を語るような場の提供が達成しつつあるのではないかと思います。ひとえに良いスタッフと、それをサポートして下さる地域の皆様、そしていつも温かいご支援を下さいます事業所に関わる大勢の方々、並びに笑顔で毎日利用して下さる皆さん・・・つくしの里を想って頂ける全ての皆様に心から感謝を申し上げます。

♪ つくしの里慰労会 ♪



3月24日は利用者の皆さんが楽しみにしていた、つくしの里の慰労会！平成28年度の終わりにお疲れ様の意味を込めて、今回は穴原温泉いづみやさんで日帰り温泉を満喫しました。皆で温泉に入ってさっぱりした後は、おいしい食事とカラオケを思いっきり堪能♪

日々の疲れをリフレッシュして「平成29年度も頑張るぞー！！」

.....

お花見

去る4月14日、十六沼公園と中野不動尊でお花見をしました。去年はとても寒くて大変でしたが、今年はポカポカ陽気でお花見日和♪少し花見には早くて満開とまでは言えませんが、とてもきれいに咲いていました。また、十六沼公園を散策していると、すぐその小高い山の山頂がとても見晴らしがいいよと教えてもらい、みんなで登りました！！中野不動尊ではろうそくの明かりを頼りに、暗く狭いトンネルの中の仏像をありがたく拝観しました。



NHK・こむこむ見学



5月26日NHK、こむこむを見学しました。NHKのスタジオ体験コーナーではテレビに映る自分の姿をみて少し恥ずかしそう。こむこむではプラネタリウムで福島の綺麗な星空とノーマン・ザ・スノーマンと言う映画を見ました。また、体験コーナーでゲームをしたり昆虫の標本などをみたりして楽しく勉強しました！

ヤクルト工場見学



6月16日ヤクルト工場見学にいきました。とてもきれいな工場の中をわかりやすく案内していただきました。大きなタンクやパッケージの自動化など、機械を見るだけでワクワクしてしまいます。その後、皆でカラオケをして楽しみました。

28年度 皆 勤 賞

28年度1回も休まずに出席された利用者さんが3名いらっしゃいました。28年度は250日ありましたが、1日も休まない事はとても大変だったと思います。その栄誉を称えて3名の皆さんに皆勤表彰をしました。

29年度もみんな元気に頑張りましょう♪



つくしの里の活動を通して...

生活支援員

〇〇〇〇

私がつくしの里の職員になってから早いもので四年が経ちました。障がい者の施設での仕事は初めてだったので戸惑いもありましたが、皆さんに支えられて今日まで続けることができました。

毎日の彼岸花作りは、利用者の皆さんの努力で今までできなかったことができるようになり、更に難しい作業にも挑戦するなど、意欲的に取り組んでいます。その努力と意欲を後押しできることが、とても嬉しく思います。

生活支援員として生活全般の支援を任せられていますが、私自身はまだまだ未熟で利用者の皆さんから教えられることもたくさんあります。

つくしの里の職員として技術や知識をさらに習得して、私自身人間的にも成長していきたいと思っています。

賛 助 会 員 募 集

特定非営利活動法人つくしの里福祉会は、障がい者の自立と社会参加、及び生きがい作りに関する事業を行い、障がい者の社会参加の推進と地域の親交を通じ、障がい者への偏見等の差別を是正し、地域社会からの理解を深めることを目的として活動しております。

このような事業の目的や活動に賛同し、ご支援くださる賛助会員を随時募集しております。何卒、つくしの里福祉会の社会福祉活動にご理解頂き、ご支援の程を宜しくお願い致します。

年会費 1口 1,000円 から

29年度 賛助会員のご紹介

福島市 〇〇〇〇様 福島市 〇〇〇〇様
福島市 〇〇〇〇様 福島市 (有)やまろく商店様
二本松市 〇〇〇〇様

28年度は「個人会員12名様、団体会員8団体様」から、賛助会員として温かいご支援を賜りました。この場をお借りして、心からの御礼を申し上げます。

会費は当法人の福祉事業に有効活用致しました。今後も地域社会福祉の発展のために、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

編集後記



先日、将棋の世界で若手棋士の連勝記録が連日報道されました。若手の躍進の中で、加藤一二三・九段が六十一年の棋士人生を引退しました。神武以来の天才と呼ばれた彼は、数々の記録と実績を積み重ねましたが、中でも千を超える敗北の記録は偉大だと私は思います。晩年、敗北が続いてもなお勝負し続ける情熱。その敗北の中にある勝利が意味するのは、一つの成功を手にするには、多くの失敗や努力と決意を秘めながら、熱っぽく何事にも不屈で続ける事にあるのかもしれない。会報の編集や他の事業所様の会報を拝見していると、どれも楽しい記事で華やかです。しかしそれは数々の困難を乗り越えた結果であると考えると、私自身もっと前向きに生きたいと強く思います。

つくしの里は今年度で十周年を迎えます。その歴史を思うと、続ける事の意義を実感します。そのうちにあつて、これからのつくしの里はどうなるのだろうと考えれば、現在進んでいる歩みが輝かしい一歩である事を心から願ってやみません。何十年後かに振り返った時、支えてくださる皆様と共に、精一杯の努力をしたと胸を張って言えるように、この会報を楽しい記事で埋め尽くしたいと思っています。

平成 28 年度 特定非営利活動法人 つくしの里福祉会 財務報告書

単位：円

1. 貸借対照表

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産合計	27,300,633	流動負債合計	1,810,560
固定資産合計	20,483,516	固定負債合計	18,407,955
		負債の部合計	20,218,515
		正 味 財 産 の 部	
		前期繰越正味財産額	20,787,096
		当期正味財産増減額	6,778,538
		正味財産の部合計	27,565,634
資産部の合計	47,784,149	負債・正味財産の部合計	47,784,149

2. 活動計算書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

勘 定 科 目	決 算 額	適 用
受取会費	192,000	正会員 25 名、賛助会員 23 名
受取寄付金	36,000	社会福祉協議会松川協議会様より 30,000 円
受取助成金	2,000,000	遠藤医療福祉助成財団様(8 人乗送迎車購入)
訓練等給付費収益	24,680,770	就労支援継続B型つくしの里利用者 13 名(出席率 96%)
授産事業収益	3,573,908	彼岸花・ボンせんべい・その他の作業収益
その他の収益	26,451	受取利息・雑収益
経常収益計①	30,509,129	
福祉事業費	18,616,491	職員人件費・事務費・事業費・減価償却費等
授産事業費	3,618,610	利用者工賃・材料費・作業関係経費等
管理費	1,495,490	法人運営に係る経費
経常費用計②	23,730,591	
当期経常増減額①－②	6,778,538	
当期正味財産増減額	6,778,538	
前期繰越正味財産	20,787,096	
次期繰越正味財産	27,565,634	

28年度に頂いた寄付金・助成金について

本年度も社会福祉協議会松川協議会様より3万円を頂きました。長年にわたって、ご理解とご支援、誠にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願い致します。

遠藤医療福祉助成財団様より送迎車両購入費として200万円の助成を頂きました。安全安心で送迎事業が出来ますことを、心より感謝申し上げます。

